

市民活動団体との合併懇談会 結果報告書



- P 2…合併懇談会の概要
- P 3…合併懇談会の結果
- P 9…市から各団体への質問等
- P 12…各団体からの意見・要望等

平成 29 年 9 月
館林市

合併懇談会の概要

1 趣旨

板倉町との合併協議が進む中、合併の是非やその方法について、広く市民の声を聴き、集約された意見を今後の協議に反映させるため、本市の市民活動団体を対象に懇談会を開催するもの。

2 日時・場所・参加団体（全15団体）

- (1) 8月22日（火）午前10時30分～ 市役所503会議室（5階）
まちづくりを考える研究グループ、館林市寿連合会、
館林市食生活改善推進員協議会、館林市母子保健推進員協議会、
館林市体育協会（5団体）
- (2) 8月24日（木）午後7時～ 市役所501A会議室（5階）
館林市くらしの会、館林市認定農業者協議会、館林商店街連合会、
館林市小中学校PTA連合会、館林市文化協会、館林消防団
（6団体）
- (3) 8月25日（金）午後7時～ 市役所501A会議室（5階）
館林VYS会、二十歳の集い実行委員会、館林市農業青年会議、
館林市女性防火クラブ連合会（4団体）

3 内容

- (1) 合併の是非について
- (2) 合併の方式（編入合併・新設合併について）
- (3) 合併した場合、団体内の想定される影響
- (4) 合併した場合、どんなまちになってほしいか具体的なイメージ
- (5) その他

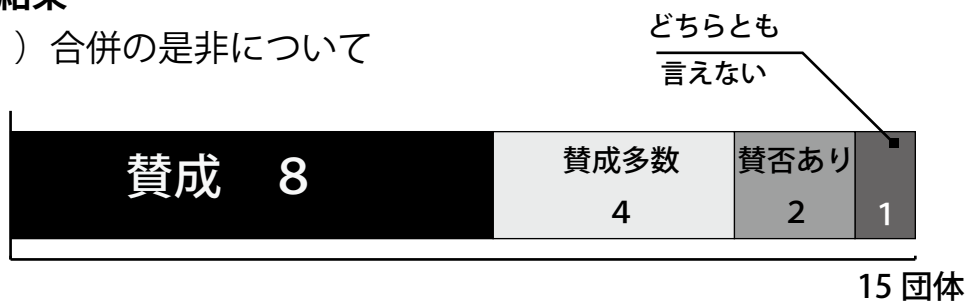
合併懇談会の結果

1 合併懇談会の参加団体について

⇒ P 4のとおり

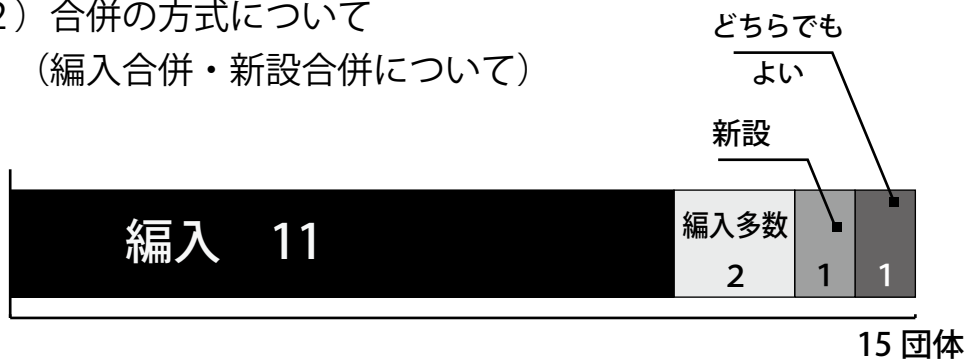
2 結果

(1) 合併の是非について



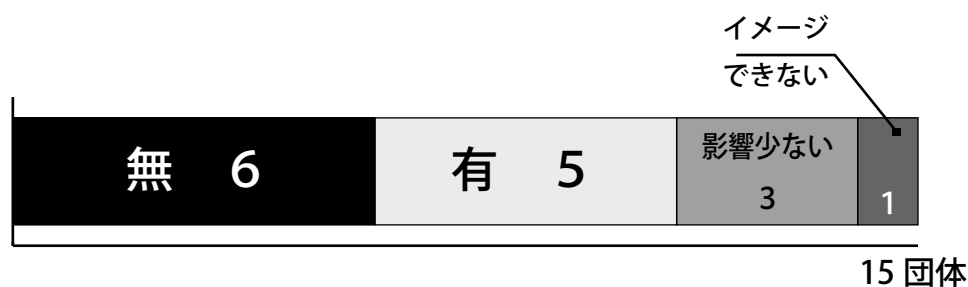
⇒ 詳細はP 5のとおり

(2) 合併の方式について (編入合併・新設合併について)



⇒ 詳細はP 6のとおり

(3) 合併した場合、団体内の想定される影響



⇒ 詳細はP 7のとおり

(4) 合併した場合、どんなまちになってほしいか具体的なイメージ

⇒ P 8のとおり

合併懇談会の参加団体について

団体名	会員数	意見の集約方法	団体概要
まちづくりを考える研究グループ	20人	定例会（5人）にて意見を集約	館林市の中心市街地活性化に取り組んでいる
館林市寿連合会	3,654人	理事会（18人）にて意見を集約	高齢者にふさわしい魅力ある地域社会を築くことを目的に、各種事業を行っている
館林市食生活改善推進員協議会	76人	会員へアンケートを実施し、回答を基に役員9人で意見を集約	食の観点から、健康づくりのボランティア活動を行っている
館林市母子保健推進員協議会	76人	臨時幹事会（11人）にて意見を集約	母子の健康の保持増進に寄与することを目的に、各種事業を行っている
館林市体育協会	7,153人	臨時正副会長会議（5人）にて意見を集約	スポーツの普及発展、競技力向上と生涯スポーツの振興などを目的に各種事業を行っている
館林市くらしの会	約100人	代表者会議（12人）にて意見を集約	消費生活の改善と向上を図ることを目的に、各種講習会や視察研修、イベント等への参加をしている
館林市認定農業者協議会	252人	役員会（21人）にて意見を集約	館林市の農業の中核を担う方たち
館林商店街連合会	124人	役員会（6人）にて意見を集約	館林の商店街の連絡・調整などを行っている
館林市小中学校PTA連合会	約5,430人	会長・副会長同士で話し合い、意見をまとめた	子どもたちが心豊かで、たくましく心身共に健全に成長することを目的に活動している
館林市文化協会	1,407人	本部役員会（7人）にて意見を集約	市民の文化意識の高揚および芸術文化の向上を目的に各種事業を行っている
館林消防団	248人	正副分団長会議（29人）にて意見を集約	火災や災害発生時に、消防本部・消防署と協力して活動している
館林VYS会	8人	定例会などで意見を集約	地域の子どもたちの健全育成を目的として活動している
二十歳の集い実行委員会	6人	SNSなどで意見を集約	毎年成人になるかたが集い、成人式の企画・運営を行っている
館林市農業青年会議	29人	役員会（8人）にて意見を集約	意欲のある若手農業者が、各種事業を行っている
館林市女性防火クラブ	240人	役員会（48人）にて意見を集約。	家庭での火災予防の知識習得、地域全体の防火意識の高揚などを目的に活動をしている

(1) 合併の是非について

団体名・会員数	是非	内容・内訳等
まちづくりを考える研究グループ	賛成	板倉町との合併だけではなく、広域のまちづくりを目標に1市2町や1市3町での合併も視野にいれてほしい
館林市寿連合会	賛成多数	18人の役員の内14人が賛成。「学区の変更などで通学が便利なる」などの肯定的な意見や、「もっと広域での合併を目指すべき」との意見があった
館林市食生活改善推進員協議会	賛成多数	7～8割が賛成。「両市町の良いところを補いながら合併してほしい」という賛成意見と、「発展性が望めない」などの消極的な意見があった
館林市母子保健推進員協議会	賛成	館林市の名称が残るのであれば合併は賛成
館林市体育協会	賛成	日頃から板倉町はもとより、邑楽郡と共同でイベントや大会を行っているため、合併については賛成
館林市くらしの会	賛成	交流の輪が広がる
館林市認定農業者協議会	賛成多数	役員21人の内15人が賛成、5人が反対、1人が分からない。「農業を進化させるためには必要」や、「メリット・デメリットが不明確」などの意見があった
館林商店街連合会	賛成	面積と人口が増えることで良い影響が出ると考えるため
館林市小中学校PTA連合会	賛成	※懇談会の場で詳細は語られなかった
館林市文化協会	賛否あり	「合併の理由が明らかでない」などの反対意見や、「基本的には賛成だが、板倉町役場の庁舎建設などにかかる負債を負うのが不安」などの意見があった
館林消防団	どちらとも言えないが多数	賛否両方の意見あったが、どちらとも言えないという意見が一番多かった
館林VYS会	賛成	板倉地区から依頼の増加や、会員数が増えることが期待されるため
二十歳の集い実行委員会	賛成	合併した方がよい方向に市が進むと思う。また、邑楽郡の他の自治体も巻き込むべき
館林市農業青年会議	賛否あり	「会員が増える」や「農業経営はJAと協力しているためデメリットはない」との意見があった
館林市女性防火クラブ	賛成多数	※懇談会の場で詳細は語られなかった

賛成：8、賛成多数：4、賛否あり：2、どちらとも言えない：1

(2) 合併の方式について

団体名	新設・編入	内容・内訳等
まちづくりを考える研究グループ	編入	他の町との合併も視野に入れた場合、市民感情や費用、労力を考慮すると編入合併が妥当
館林市寿連合会	編入多数	18名の理事の内、16名が編入合併を妥当とする意見があった。「1市3町や4町で合併するのであれば新設が妥当」との意見があった
館林市食生活改善推進員協議会	どちらでもよい	板倉町と連携がとれる効率の良い方法なら、どちらでも良いのでは
館林市母子保健推進員協議会	編入	館林市の名称を残すため編入合併が妥当
館林市体育協会	編入	※懇談会の場で詳細は語られなかった
館林市くらしの会	新設	板倉町と対等に合併できるため
館林市認定農業者協議会	編入多数	新設が5人、編入が11人、どちらとも言えないが5人。「後々ゆがみを残さないため新設」や、「人口比などを考慮すると編入」などの意見があった
館林商店街連合会	編入	経費削減と短期間での合併を望むため編入合併
館林市小中学校PTA連合会	編入	※懇談会の場で詳細は語られなかった
館林市文化協会	編入	コストやスピード面から編入合併。もし、新設合併でも館林の名称を残してほしい
館林消防団	編入	※懇談会の場で詳細は語られなかった
館林VYS会	編入	条例・規則を一から改正するのは大変だと感じるため
二十歳の集い実行委員会	編入	コスト面を考慮すると編入合併
館林市農業青年会議	編入	予算・事務量などを考慮すると編入合併
館林市女性防火クラブ	編入	※懇談会の場で詳細は語られなかった

編入：11、編入多数：2、新設：1、どちらでもよい：1

(3) 合併した場合、団体に想定される影響

団体名	有無	内容
まちづくりを考える研究グループ	影響少ない	※懇談会の場で詳細は語られなかった
館林市寿連合会	無	※懇談会の場で詳細は語られなかった
館林市食生活改善推進員協議会	無	1市5町により団体の活動方針を決定しているので影響はない
館林市母子保健推進員協議会	有	館林市の活動は内容が多岐にわたり、地域間で交流を図ってきたため、板倉町の団体とすぐに同じ活動をするのは難しいと考える。合併後に少しずつ板倉町の団体と交流を図りながら、調整をしていく必要がある
館林市体育協会	無	日頃から交流が図られているため影響はない
館林市くらしの会	無	板倉町に同じ内容の団体はないため
館林市認定農業者協議会	影響少ない	J Aではすでに邑楽館林で合併をしているため影響は少ないと感じる
館林商店街連合会	無	板倉の商店の方々と今後交流が生まれることが期待できる
館林市小中学校PTA連合会	無	総会や県のイベント参加などの活動は、各小学校単位で参加者が選出されるため影響ない
館林市文化協会	有	既に合併した太田市では、連合会の形式で文化協会の活動をしている。連合会では統一感が生まれにくく、話がまとまらないなどの話を聞いたことがあることから、連合会ではなく、編入方式で合併して活動するのが望ましいと感じる。板倉町の文化協会の意見を尊重しつつ、時間をかけて話し合っていく必要がある
館林消防団	影響少ない	消防組合として一緒に活動していることが多いため影響は少ない
館林VYS会	有	館林VYS会に対する板倉地区からの依頼が増えると予想される。また、現在館林の人員が8人しかいないため、会員数の増員につながる
二十歳の集い実行委員会	有	合併後、成人式をどのような形式で行うのかという課題が生まれる。会場は太田市のように地区ごとで開催するのか、又は現状のまま一か所で合同開催するのかという意見があった
館林市農業青年会議	イメージできない	※懇談会の場で詳細は語られなかった
館林市女性防火クラブ	有	運営補助費や役員・人員などの編成方法、活動内容に違いがあるため、調整が必要になる

無：6、有：5、影響少ない：3、イメージできない：1

(4) 合併した場合、どんなまちになってほしいか具体的なイメージ

団体名	内容
まちづくりを考える研究グループ	板倉町の広大な用地や、板倉東洋大との連携など、メリットを生かしてほしい
館林市寿連合会	安心して子を産み、育て、学び、働けるまち。合併すると行政サービスが低下する面がないだろうかという心配する意見がある。その他には、遊水地と花山の観光地化を進めてほしい
館林市食生活改善推進員協議会	老人にやさしいまち・人口増加・観光の振興・老若男女が平等に暮らせるまち・商業施設の誘致を目指してほしい
館林市母子保健推進員協議会	農業を生かせるまち・子育てしやすいまち（産科・小児科など）・高齢者が働けるまち・観光地化（古代ハスのPR）・防災対策がしっかりしているまち
館林市体育協会	スポーツ宣言都市にふさわしいまちづくりをしてほしい。具体的にはスポーツ施設の充実化など。また、人口が増えて競技参加者なども増えてほしい。都市対抗競技会が少子高齢化のため選手不足である。若い人に館林に残ってもらえるようなまちづくりを目指してほしい
館林市くらしの会	土地が広がるので、企業を誘致し、人口増加、活気ある館林になってほしい
館林市認定農業者協議会	農家同士がうまく付き合っていけるような環境整備と、専業農家が後継者を育成できるような体制を作してほしい
館林商店街連合会	工業団地などの企業誘致、人口増加、雇用創出。まちなか経済の活性化につなげてほしい
館林市小中学校PTA連合会	子どもたちが安全安心にのびのびできる環境づくり。子どもたちが、スポーツ分野などで上のレベルで成績が残せるような環境面の整備などをお願いしたい。子どもたちの目が輝くようなまちづくりを行ってほしい
館林市文化協会	東武鉄道やバスなどの交通網を整備して、観光地を周遊できるバスを導入してほしい。伝統行事への参加や、遊び場の整備で、子どもと親を呼び込めるまちにしてみてもどうか。また、災害が少ないこと、自然が多いことなどをアピールする必要もある。市外からの移住者を増やして、交流人口を増加に努めてほしい
館林消防団	土地を有効活用し、企業誘致をしてほしい。防災面では水害対策を強化する必要がある
館林VYS会	子どもたちに、外で遊ぶことの楽しさを感じてもらえるまち。また、いろいろな友達と触れ合うことで、友達の輪を広げられるようなまちになってほしい。若者にずっと住んでもらえるようなまちを目指してほしい
二十歳の集い実行委員会	館林市と板倉町の長所を生かしながら、市としてレベルアップしてほしい
館林市農業青年会議	意見は特に出なかった
館林市女性防火クラブ	多くの人たちを呼び込める商業施設、娯楽施設が少ないため、自然を残しながらそのような施設を誘致してほしい。また、人口を増やす政策（産科医などの医療体制充実）をしてほしい

市から各団体への質問等

■ 1回目 8月22日(火)

- ①質問【市長】 板倉町と合併した場合、積極的な利活用が望めるスポーツ施設などはあるか。
- ①回答【館林市体育協会】 館林市は陸上競技場の整備やサッカー場を人工芝にすることが進んでいない。合併後に板倉東洋大の設備が使用できれば、積極的な利活用がされると考える。
- ②質問【市長】 農業についてさまざまな意見があったが、これからのまちづくりをデザインしていくためには、農業・食・健康のまちづくりは重要なテーマだと考える。各団体の考えを伺いたい。
- ②回答【館林市寿連合会】 これから食糧難の時代がくるかもしれない。合併後はハイテク農業を進めるべきだという意見がでた。
- 【まちづくりを考える研究グループ】 板倉町との合併後は、地元で作った農産物を地元で加工して売るという6次産業化を進めてほしい。
- ③質問【副市長】 現在、団体や個人間で板倉町との交流・連携などを行っているか。
- ③回答【まちづくりを考える研究グループ】 以前は板倉東洋大の学生や教員と一緒に活動していた。学部移転などの影響で現在交流などはしていない。合併を機に板倉東洋大の学生など、若い方との連携が復活できればと考えている。
- 【館林市寿連合会】 現在交流はない。県が主催するイベントなどであいさつをする程度。
- 【館林市食生活改善推進員協議会】 毎月支部長会などを開催して交流を図っている。年に1度、新年会を行っている。
- 【館林市母子保健推進員協議会】 現在交流はないが、今後講座などを通して合併前に活発な交流を図っていかれたらと思う。
- 【館林市体育協会】 日頃から活動を一緒に行っている。

■ 2回目 8月24日(木)

- ①質問【市長】 合併の是非についてどちらとも言えないという意見が多い理由は。
- ①回答【館林消防団】 賛否が分かれている中でも、どちらとも言えないという意見が多かった。「メリットが明確でない」、「少子高齢化の影響で合併しないといけない」などの意見や、「消防団員の確保が難しくなるため合併してもよいのでは」という意見があった。

- ②質問【市長】 板倉町はハザードマップで洪水被害が深刻な地域だと発表されている。合併する上でリスクになると考えるか。
- ②回答【館林消防団】 板倉町の消防団は水害についての対策訓練を行っている。最近の雨の降り方などを見ると更に対策強化が必要だと感じる。
- ③質問【市長】 現在、合併協議会で事務事業等の調整をしているが、給食費無料化について団体の考えを伺いたい。
- ③回答【館林市小中学校PTA連合会】 保護者からは「他の自治体は無料化しているのに」という話は聞く。板倉町と館林市で意見をすり合わせるの難しいと感じる。板倉町と歩み寄って、まずは半額分を支払ってもらうなどして、3～5年の期間でその都度費用の見直しなどをしていけば理解を得られるのではと個人的に考える。今後、市P連の中でも、色々と意見を聞いていきたいと思う。
- ④質問【市長】 農業について、板倉東洋大と連携した商品開発や、6次産業化についての考えをお伺いしたい。
- ④回答【館林市認定農業者協議会】 6次産業化はとても良いアイデアだが、どこまで規模を拡大していけるかが課題だと感じる。全国的に売り出すためには、規模拡大や気候などの面の影響もあるので難しいように感じる。特徴を生かして全国に売り出していければと考える。現在、板倉町では、若い後継者などが農業を法人化して加工野菜を売ったりしている。東洋大などとの連携で、新しい農業のかたちが生まれる可能性は秘めていると思う。
- ⑤質問【副市長】 現在、団体や個人間で板倉町との交流・連携などを行っているか。
- ⑤回答【館林市くらしの会】 板倉町にくらしの会がないため、交流はない。
- 【館林市認定農業者協議会】 県が開催するイベントなどで交流をする程度で、団体同士の交流ない。同業者なので個人的交流はある。
- 【館林商店街連合会】 交流はない。板倉町に同じような団体があるかどうか分からない。
- 【館林市小中学校PTA連合会】 県などの行事で顔を合わせる程度で、交流はない。
- 【館林市文化協会】 5年に一度、東毛広域圏文化フェスティバルで合同の発表会などを行っている。また、館林の団体に所属している板倉町民もいる。
- 【館林消防団】 消防組合として活動しているため、普段から一緒に活動している。
- ⑥質問【教育長】 板倉町と合併したときにどういった未来の農業像を描けるのか、団体として考えを伺いたい。
- ⑥回答【館林市認定農業者協議会】 この地区の農業の特色としてハウス栽培が盛んで、キュウリやトマトを中心に作っている。後継者に関しても群馬県内では多い方である。色々なことがチャレンジしやすい環境だと感じる。多種多様な観光資源を生かして、タイアップした商品開発などができると考える。

■ 3回目 8月25日(金)

- ①質問【市長】 新市になった際、農業の分野で板倉東洋大とタイアップすることでメリットが生まれるか。
- ①回答【館林市農業青年会議】 廃棄処分をする野菜などを活用して6次産業化などが図れば、良いメリットになると思う。
- ②質問【副市長】 現在、団体や個人間で板倉町との交流・連携などを行っているか。
- ②回答【館林VYS会】 団体としての交流はない。板倉町の高校の同級生と遊んだり、両親が板倉町出身だったりする程度。
- 【二十歳の集い実行委員会】 団体としての交流はない。個人的には、板倉東洋大のオープンキャンパスに行ったことがある。また、板倉町で開催されるトライアスロンのイベントにスタッフとして参加したことがある。
- 【館林市農業青年会議】 農業青年会議は板倉町には無いので交流はない。個人的に板倉町の農業者と一緒に食事をしたり、技術を教えてもらったりしている。他の農業の団体はさまざまな交流をしている様子。JAの青年部などは現在一緒に活動している。合併すれば農業青年会議のメンバーが増えるものと期待している。
- 【館林市女性防火クラブ】 団体の交流はない。県のイベントなどに、一緒のバスで参加する程度。
- ③質問【教育長】 若い人は合併に関心をもっているか。
- ③回答【館林VYS会】 面積が広がるのかなというくらいで、若者の反応は薄いと感じる。メリット・デメリットが分かりにくいことが要因かもしれない。
- ④質問【教育長】 農業におけるスケールメリットはどのようなものがあるか。また、これからの農業経営の在り方、後継者の在り方などを聞かせてほしい。
- ④回答【館林市農業青年会議】 JAが邑楽と館林が合併した際に担当から、スケールメリットが生まれると説明を受けたが、現時点でその実感はない。さまざまな視察等に行っているが、JAだけに依存せず行政を利用することが大切だと思う。儲かる農業になれば、後継者も増えるものと考え。大きな規模で儲けている農業者を見ていると、JAではなく行政をうまく活用していると思う。

各団体からの意見・要望・感想・質問等

- ・編入、新設で話がまとまらなかったとしても、今後合併が実現できるようにしてほしい。また、広域の合併も目指してほしい
- ・合併は時間をかけてじっくり取り組んでほしい
- ・合併に対する板倉町民の感情はどうか
- ・板倉町の団体と市民団体レベルで合併前に交流を深められるように働きかけてほしい
- ・板倉町はなぜ合併したいのか
- ・栃木県のように生産物の促進PRを行う必要があるのでは
- ・東北自動車道が通っていることで、分断されるイメージがある。今後交流を活発にしたい。また、スマートインターなどを作れば工業団地の誘致などにもプラスに働くと考える
- ・板倉町の駅前が寂しく、その周辺が住宅街になっている。合併後、土地の値段を下げても、早急に駅前開発を行ってほしい
- ・若者の中では、合併して何がかわるのか疑問に思っている人が多い。合併することの一番のメリットを教えてください
- ・館林市は魅力に乏しいと感じるため、魅力づくりをする必要があるのでは
- ・合併した場合のまちの中心は変わるのか。インターチェンジ周辺や、国道354沿いが中心になって発展すればと考える
- ・合併によって近隣自治体と新たに関係が構築されるメリットがあるので、販売促進につながると期待できる
- ・合併によって税金関連はどうなるのか
- ・第四小学校の児童数が少ないので、合併して小学校も再編されれば、児童数が増えるものと考え
- ・給食費無料化について、以前、国で高速道路料金の無料化を実施していたが、途中で立ちいかなくなった経緯がある。聞こえのよい政策を出すのではなく、住民が少し汗をかく部分が必要だと感じる。無い袖は振れない。有料でも良いのでは。